

三中だより

三崎中学校校歌

珠洲の海原 そよ風渡り いま朝日の 光のうちに
玉も白たま より来る岸辺 望みあふれて いそしみはげむ
我等が 三崎中学校

校訓 自治 親和 責任

学校教育目標

自立して学び
人と協働して
貢献できる生徒の育成



令和7年10月28日 第7号 珠洲市立三崎中学校

珠洲市立三崎中学校

検索

文化祭もグラウンドも進化中！



今年度も折り返しの時期を迎える、学校では文化祭に向けた準備が本格化しています。今年度の文化祭は、みさき小学校との合同開催となり、「海鳴祭～みさきっ子の力 ここに集結！～」をスローガンに掲げています。「どうすれば小学生も楽しめるだろう？」「最高の文化祭にするにはどうしたらよいか？」と、それぞれが思いを巡らせながら、小学生も巻き込んだ企画づくりに日々工夫を凝らして取り組んでいます。また、育友会では『能登半島復興応援ソング「Home～Grace for all～』を披露します。会員の皆さんに加え、小学校の先生方や保護者の方々、地域の皆さんにも多数ご参加いただき、海鳴祭と一緒に盛り上げてくださっています。

「海鳴祭」は、11月5日（水）に開催されます。午前9時からはみさき小学校体育館にて、午後1時30分からは三崎中学校体育館にて行われ、昼食をはさんで会場が移動します。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

さて、話は変わりますが、仮設グラウンドには「自動芝生管理ロボット」が設置されました。芝生をご提供いただいた日本サッカー協会様より寄贈されたもので、AIを搭載した自動芝刈り機です。芝の長さや稼働時間をアプリで設定できる優れもので、日々グラウンドの整備に活躍しています。ただし、溝にはまったり、タイヤにゴミが巻き付いたりするとエラーを起こして助けを呼ぶこともあります。まだまだ試行錯誤の毎日ですが、テクノロジーの力を借りながら、より快適なグラウンド環境づくりを進めていきます。

校長 三益 邦子



11月行事予定

4日（火）	海鳴祭予行 海鳴祭育友会企画ゴスペル練習 17:30～18:30（中学校体育館）
5日（水）	小中合同文化祭（海鳴祭） 午前：みさき小 午後：三崎中 海鳴祭育友会企画ゴスペル練習 12:50～13:15（中学校音楽室）
10日（月）	珠洲市教育委員会学校訪問
12日（水）	進路説明会 14:40～
13日（木）	復旧復興への現場見学（2年生）
17日（月）	指導主事計画訪問B
18日（火）	3年生学力テスト 小中連携クリエーション
19日（水）	3年生学力テスト
20日（木）	市中学生英語スピーチコンテスト
21日（金）	市特別支援合同学習会
25日（火）	職員会議
26日（水）	市学教研2類
27日（木）	市学教研2類（事務部会）
28日（金）	市SDGs報告会 ラポルト

12月行事予定

2日（火）	評価問題テスト（2年生） 熟議（みさき小）
3日（水）	期末テスト
4日（木）	期末テスト
5日（金）	人権集会
12日（金）	キャリア教育講演会 スペラファーマ株式会社 岩城 慶太郎様
19日（金）	職員会議
23日（火）	通知表渡し
24日（水）	終業式
29日（月）	年末年始閉学日（～1/3）

★みさき小三崎中合同文化祭

海鳴祭～みさきっ子の力 ここに集結！～

日時：11月5日（水） 9時スタートみさき小体育館

13時半より三崎中体育館

★三崎中学校 学校公開

11月4日（火）から11月7日（金）

学力調査、学校評価より

全国学力・学習状況調査と石川県基礎学力調査の結果をお知らせいたします。本校の結果は、理科は県平均を下回りましたが、国語・社会・数学・英語は、県平均を上回りました。「基礎的な知識・理解を基に説明したり、計算したりする力」は身についていますが、「他者の発言に結びつけて自分の考えをまとめたり、深めたりする力」にまだまだ伸びる余地があるようです。理科については、「現象から課題を見いだす力」や「その課題に対してどのような実験を計画するかを見通す力」、「実験結果から他者との対話を通して考え方を表現する力」に課題があることがわかりました。身につけた基礎的な知識・技能を十分に活用しながら課題を解決していく力を付けていく必要があります。

教科	国語	数学	理科	社会	英語	◎5P以上高い ▲理科はIRTスコア(異なる問題に対する同一基準になる数値で500が中央になる数値)
本校	◎	◎	▲	◎	◎	
県	54.3	48.3	530	53.2	51.4	

三崎中では、この結果を受けて、知識理解の定着はもちろん、個で考える時間を確保し、他者の意見から考えを深め、さらに知識を再構築していくように対話活動の取組を進めています。11月4日(火)から11月7日(金)は学校公開をしております。ぜひ、ご来校いただき、授業の様子や生徒の様子を見て頂けたらと思います。

令和7年度1学期 学校評価（中間評価）の結果報告

「安全・安心」に高い評価、「学びの自立」に向けて連携を強化

令和7年度1学期の学校評価（中間評価）がまとまりました。生徒、保護者の皆様、職員にご協力いただいたアンケート結果をもとに、本校の教育活動の成果と課題を報告いたします。1学期は、学校運営の基盤となる「安全・安心」に関する取り組みで特に高い評価をいただくことができました。一方で、生徒の「学びの自立」や教職員の「組織的運営」については、さらなる改善が必要な課題も明らかになりました。

【グラフで見る主な結果】

今回の評価において、特に特徴的だった以下の項目について、アンケート結果を引用します。

1. 成果：学校の安全・安心への高い信頼（保護者アンケートより）

学校が安全・安心な場であること、地域に学ぶ教育活動であることについて、保護者の皆様から高い評価をいただきました。そのほか多くの項目で肯定的な回答が100%でした。

5 学校は、安全でおいしい給食を提供している。



6 学校は、地域の方々や地域の資源を活用した教育活動に取り組んでいる。



2. 課題：家庭学習の目標時間達成度の課題（生徒アンケートより）

生徒の「学びの自立」に向けた課題として、家庭学習の目標時間達成度が挙げられます。目標時間に取り組めた生徒は6割に留まっており、家庭との連携強化が必要です。

学校運営の成果と課題の詳細

成果：安全と安心を基盤に

- 安全・安心体制の確立：上記の給食に加え、震災後の心のケアや、いじめ・不登校への対応についても、保護者・教職員双方のアンケートで90%以上の肯定的な評価を得ています。この基盤が、生徒の「学校に来ることが楽しい」(70%肯定)という意識に繋がっています。
- 働き方改革の推進：教職員アンケートでは、定時退校日の実施について100%の職員が肯定しており、業務環境の改善が着実に進んでいます。

課題：学びの自立・組織的運営の強化

今回の評価では、以下の2点について特に改善の必要性が認められました。（中間評価C・D）

・家庭学習の個別フォローの必要性

上記のグラフの通り、家庭学習の目標時間達成度が課題です。また、学習計画ツールである「フォーサイト」の活用についても、生徒の肯定率は50%に留まっています。

【今後の具体的方策】

フォーサイトの活用指導を強化し、生徒一人ひとりが実践に繋がるよう、定期的な確認と個別指導を徹底します。

・授業改善と組織的指導力の課題

授業での「学習用個人端末を使用した授業」に対する教職員の肯定率が63%と伸び悩み、ICTの効果的活用が中間評価でD評価となりました。また、教職員の指導力向上を図る「若手を講師とした研修」の実施率が16%と低く、組織的運営もD評価となりました。

【今後の具体的方策】

ICT活用事例の共有や研修会を充実させ、組織全体で生徒の興味関心を引き出す学習活動を推進します。

おわりに

1学期を通して生徒たちは、授業での話し合いで自分や友だちの考え方の良さを知る(90%肯定)など、協働的な学びを身に付けて着実に成長しています。2学期は、生徒の「学びの自立」に向け、家庭学習の充実とICTの適切な活用を重点に、学校・家庭・地域が連携して教育活動を推進してまいります。引き続き、ご理解とご協力を願い申し上げます。